

緑園連合 News

2026年1月15日 Vol. 62
 発行 緑園連合自治会
 発行責任者 貝沼 貞夫
 編集責任者 林 英一

◆◆連合町内会長 年頭ごあいさつ◆◆

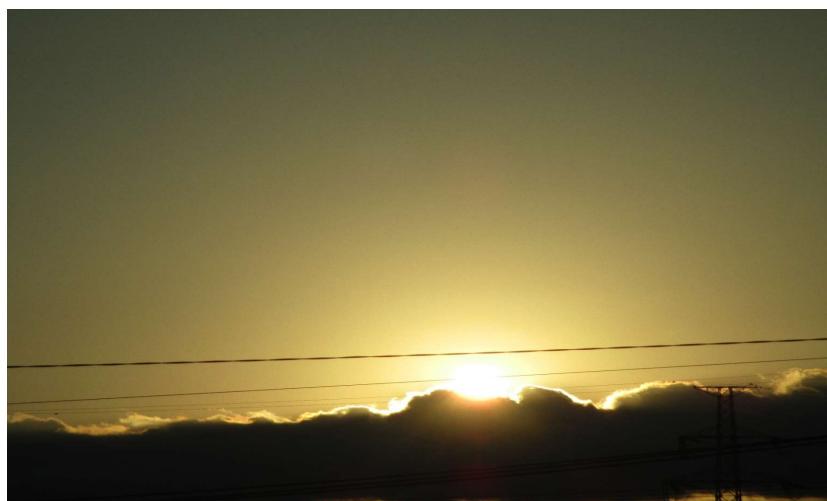
緑園連合自治会
 会長 貝沼 貞夫

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様が健やかに新年を迎えられましたことと心よりお慶び申し上げます。

緑園地区では、近年の高齢化等に伴い、様々な課題・問題が生じております。その一例として「空き店舗の増加」が考えられます。まちの活力を保つうえで、見過ごせない課題となっております。空き店舗の解消は、街の賑わいの創出だけでなく、防犯面においても大きな意義があります。連合自治会としても、活性化委員会を中心としてプロジェクトを編成し、行政機関、企業等関係団体のご協力を得ながら、解決策について月1回のペースで検討を重ねております。

また、最近の特殊詐欺などの犯罪が多く発生し、緑園地区も例外ではなく、令和7年に特殊詐欺が6件発生しております。「犯罪のない街・緑園」を実現するには、日頃からの声かけや見守り、地域ぐるみの防犯パトロールなど、「防犯意識の向上」や「顔の見える関係」が何より大切であると考えております。本年も、警察など関係機関と連携しながら、安全・安心なまちづくりを進めてまいります。本年も、「顔の見える関係」と「支え合いの心」を大切に、誰もが安心して暮らし続けられ、犯罪のない街・緑園を合言葉に皆さんと共に築いてまいります。

結びに、令和8年が皆さんにとって健康で穏やかな一年となりますこと、そして緑園の地域が、より安全で明るいまちとなりますことを心より祈念し、新年のご挨拶といたします。



◆◆新年のご挨拶◆◆

緑園地区社会福祉協議会
会長 伊藤正男

あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい令和8年の初春をご家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年4月より第5期緑園地区地域福祉保健計画（令和8年度～令和12年度）が開始されます。緑園がめざすまちの姿として、「誰もが安全・安心して過ごせるまち」、「ご近所同士が気軽に交流できるまち」、「子育てしやすい・親子がつどうまち」を基本理念とし、地域交流事業、子供と高齢者支援事業、健康づくりと予防事業、支え合い・助け合い事業を連合自治会、関連団体と連携しながら活動して行きます。

私たちが住み慣れたまちでも日常生活における様々な課題や困りごとがありますが、皆様と一緒に考えながら、自分らしい暮らしが続けられるように活動したいと考えております。

◆◆緑園福祉ふれあい祭りが開催されました

ふれあい祭り実行委員会

10月26日（日）に「第26回緑園福祉ふれあい祭り」が緑園地域交流センターで開催されました。この催しは、緑園地域で福祉活動している団体やボランティアが一堂に集まり、福祉活動・ボランティア活動の紹介、健康チェック、模擬店、演芸ステージなどを企画して地域の人と交流を深めています。

今回、泉区内の福祉施設や企業・団体による地域貢献活動のネットワーク組織である「泉サポートプロジェクト（通称 サポプロ）」の協力をいただき、地域の方々から多く寄せられた緑園地区巡回バスが走行しました。

会場内で「お米の重さ当てクイズ」が行われ正解者5名に賞品としてお米が贈呈されました。開催に当たっては、サポプロ参加団体をはじめとする関係各団体の多大なるご支援とご協力を得られました。皆様本当にありがとうございました。



各団体の発表

◆◆緑園年末防犯総決起大会が開催されました◆◆

緑園連合自治会防犯部

12月10日（水）10:00より、緑園地区全域を対象として、緑園年末特別防犯取り組みを実施致しました。電話でキャッシュカードやお金を要求され騙し取られる事件が多発している中で被害を防ぐとともに、年末に多発する各種犯罪被害を防ぐため、当日は泉区役所地域振興課関係者や泉警察署員、緑園連合自治会貝沼会長はじめ防犯関係者が緑園都市駅東口に集合し、ミーティングを行った後、啓発チラシやグッズを配りました。



ビブス



全員でミーティング



啓発活動の様子

◆◆緑園年末一斉清掃は雨天のため中止となりました◆◆

緑園都市コミュニティ協会 緑園連合自治会

12月14日（日）に予定していた一斉清掃は、予備日を含め雨天のため中止となりました。

◆◆緑園みんなの運動会 開催報告◆◆

主催：緑園みんなの運動会実行委員会

後援：緑園連合自治会

今年度、緑園スポーツフェスティバルが中止となり、とても楽しみにしていたお子様も多かったと思います。そこで有志のママ達を中心に、地域の方々の協力を頂いて運動会が開催されました。

10月19日（日）9:00、緑園学園メイクリングランドは好天にめぐまれ、大勢の参加者が集い、開会式が行われました。全ての競技が紅白対抗戦です。50メートル競争（前期1～3年）を皮切りに未就学児による仲良し競争含め9種目が行われました。

各種目とも前期課程（1～6年生）の子ども達を対象とする種目が多く、一緒に来場された家族をはじめ、多くの関係者でにぎやかな大会となりました。

会場としてグランドや設備をお借りした緑園学園さんに厚く御礼申し上げます。実行委員会の皆さん、ご苦労さまでした。



◆◆各部からの報告◆◆ ~~緑園地区活性化委員会~~

委員長 鈴木照明

令和7年度の緑園地区活性化委員会の主な活動は次の通りです。

1. 緑園学園支援活動：1) 農業学習支援として春のじゃがいも、秋の大根の栽培、収穫。
2) 学校教育支援、3) 子供見守り支援：通学路の安全や横断歩道の安全を見守っています。
2. 緑園ジョイプラス部会：6月29日に「相鉄の『鉄ちゃん』たちと語りあう鉄道あれこれスペシャルトーク」という交流会を開催しました。
10月5日(日)に緑園学園アリーナで緑園学園吹奏楽演奏会を開催しました。
3. 緑園坂の駅ポンテ部会：定期的に地元野菜の販売を実施。
4. 緑園まちづくりプロジェクト：1) 地域店舗の活性化、2) 新規店舗誘致促進策
3) 子育て世代やシニア層が集まれる場所の設定等をテーマにして検討中。11月の街マルシェでブースを設け皆様の意見の募集を行いました。
令和8年度は緑園まちづくりプロジェクトの具体的な事案の実行が出来るように努めています。

~~緑園青少年居場所作り協議会~~

代表 田村靖志

緑園居場所作り協議会は青少年指導員、スポーツ推進委員、主任児童委員から構成され、毎月の第4土曜日に緑園地域交流センターで時節に応じた各種イベントを開催しています。

カブト作り、七夕飾り作り、凧揚げ、雛飾り作りなど古風な伝統行事やハロウィン、クリスマスケーキ作りなど現代行事を取り混ぜています。工作、スポーツ、菓子作りなど、未就学児から高学年児童まで、いろいろな年齢の子どもたちが一緒に遊んで、協力し、助け合いながらイベント体験をしています。毎月実施することで地域とのつながりが強化され、いろいろな人との触れ合いを通して、感受性豊かに成長するよう、イベント内容も工夫しながら進めています。なかでも7月は学校・地域と連携して地域防災拠点である緑園学園を使用し、防災意識を高める震災宿泊体験会を行います。体験会には学生ボランティアとして中学生にも参加してお手伝いしてもらいます。

毎回イベント終了後に振り返りを行い、改善すべきことは改善しながら、子どもたちが安全に楽しく過ごせる場所の提供を目指しています。

~~緑園地区防犯パトロール協議会~~

代表 塩谷敏明

2025年7月、我々の協議会の活動期間が20年目を迎えました。緑園学園児童生徒の下校時間帯（14時30分頃）を中心に、各会員の自家用車（7台）に青色回転灯を載せたりして防犯パトロール活動を行っています。

パトロール・ルートは緑園学園正門前をスタートして、七丁目→六丁目→三丁目→旧西小学校→二丁目→一丁目→五丁目までの全ての公園を巡って、また学園正門前に戻ります。ほぼ緑園地区の外周コースを走って、1周が1時間、距離は12kmとなります。週2日の活動で、年間で90日、延べ走行距離は1,000km超になります。

運転者は安全運転に専念しますが、助手席に搭乗の会員は左右の道路や家々、下校途上の子供たちの安全、公園では停車して不審者の有無などを確認しています。学園近くでは数人が固まって歩いていますが、徐々に同行する子供の数が減って行き、それぞれの家に到着する手前ではほぼ全員が一人となります。そのためパトロールは地域外周を回っています。

時に、公園で遊んでいたり、道路を歩いていたりする子供たちが手を振ったり、声を掛けてくれることをパトロールの励みに頑張っています。

編集後記

大阪での万博も終了し、次の万博はいよいよ横浜です。キャラクターはトゥンクトゥンク。とてもかわいいので、ミャクミャクのような人気者になれるといいですね。